

【Subspinal Le Fort I 型骨切り術後の鼻形態変化に対する CT 画像と頭部 X 線規格写真を用いて評価・検討】について

洛和会音羽病院京都口腔健康センター(口腔外科)、京都顎変形症センターでは、当院の顎変形症手術をされた患者さんを対象に以下の研究を行っております。

本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要と利用目的】

顎変形症手術において上顎を移動する手術が行われた場合には、鼻の形態に変化が生じることが分かっています。特に上顎を前方、上方に移動した際には、①鼻翼幅が拡大する(鼻が大きくなる)、②鼻尖が上を向く(鼻が上向きになる)、③鼻孔が大きくなる(鼻の穴が大きくなる)といった変化が強く生じることがあります。この変化の内、①鼻翼幅の拡大を軽減あるいは予防する目的で Subspinal Le Fort I 型骨切り術を採用しています。本研究では、この手術方法により実際に手術の前後で鼻の形態に変化が生じたかを調べることで、この術式の有用性を評価することを目的にしています。

【研究期間】

当院の研究倫理委員会承認日から 2024 年 3 月 31 日

【個人情報保護の方法】

研究データは、患者さんを直接特定できる個人情報の取り扱いと倫理的事項研究データは、患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号など)を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

【研究への試料・データ提供による利益と不利益】

- ・利益: 患者さん自身には特別な利益はありませんが、この研究結果が手術成績の向上に役立つ可能性があります。
- ・不利益: 本研究では、患者さんに対する不利益はありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンと USB、または鍵のついた保管庫で保管します。保管する期間は、研究終了日から 5 年間または研究結果の報告日から 3 年間のいずれか遅い方とします。

【研究成果の発表について】

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんに個人情報明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用するこ

とはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

洛和会音羽病院京都口腔健康センター・口腔外科、京都顎変形症センター

研究責任者名 尾崎尚

住所：京都府京都市山科区音羽珍事町 2

電話：075-593-1329

2023 年 2 月 26 日作成